

意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成 26 年 8 月 19 日（火）
- 2 時 間 開会 午後 7 時～ 閉会 午後 8 時 39 分
- 3 場 所 I T ビジネスプラザ武蔵 6 階交流室
- 4 参加人数 66 名
- 5 出席議員 田中展郎議長
野本正人総務常任委員長、高 誠総務常任副委員長、
源野和清総務常任委員、前 誠一総務常任委員、
森尾嘉昭総務常任委員、安達 前総務常任委員、
秋島 太経済環境常任委員長、
小林 誠市民福祉常任委員長、
下沢広伸建設企業常任委員長、
小阪栄進教育消防常任委員長、
その他オブザーバー議員
- 6 次 第 開会（高 誠総務常任副委員長）
開会あいさつ（田中展郎議長）
平成 26 年度金沢市議会 6 月定例会議会報告
（前 誠一総務常任委員）
意見交換会テーマ報告
「議会基本条例と議会改革について」
（源野和清総務常任委員）
意見交換（野本正人総務常任委員長）
閉会（高 誠総務常任副委員長）
- 7 結果概要 以下のとおり

高誠総務常任副委員長の開会に引き続き、田中展郎議長からの開会挨拶の後、前誠一総務常任委員から平成 26 年金沢市議会 6 月定例会議会報告を、源野和清総務常任委員から意見交換会テーマ報告として「議会基本条例と議会改革について」報告を行った。その後、野本正人総務常任委員長の進行により意見交換を行い、閉会した。

1. 開 会

【高誠総務常任副委員長】

それでは、皆さん、改めましてこんばんは。定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます私、総務常任副委員長をさせていただきます高誠と申します。ふなれな司会進行でございますが、精いっぱい務めたいと思います。何とぞよろしくお願いいたします。

2. 開会あいさつ

【高誠総務常任副委員長】

それではまず、開会に当たりまして金沢市議会議長の田中展郎から皆様方に御挨拶を申し上げます。

議長、よろしく申し上げます。

【田中展郎議長】

皆さん、こんばんは。紹介していただきました議長の田中展郎でございます。開会に際しまして一言御挨拶を申し上げます。

本日は金沢市議会意見交換会を開催いたしましたところ、大変暑い中、そしてお忙しい中、多くの市民の皆様にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

まず最初に、本市議会の前副議長が傷害容疑で逮捕され、去る 8 日に議員を辞職いたしました。また、昨日は市長の退職という大変重い決断が下されたことを受け、緊急議会を開催し、直ちに退職に同意したところであります。これらは市民の皆様にも市政への不信感を抱かせるものとなり、まことに遺憾であります。ここに市政の一翼を担う議会を代表いたしまして、市民の皆様にも深くおわびを申し上げます。

しかしながら、新幹線開業を目前に控えた大事な時期に市政の停滞は許されることではありません。この上は、市民の皆様からの負託に応えるよう、市政に携わる者全てが職務を誠実にを行うことで信頼の回復に努めてまいります。

さて、この意見交換会ではありますが、後ほど説明いたします金沢市議会基本条例に基づき初めて開催するものであります。議会といたしましても、市民の皆様の御意見を積極的に聞き取る場を設け、その中で市政に反映できるものは反映

していきたいと考え、このような会を設けたところであります。ぜひとも活発で建設的な意見交換ができればと思っております。

どうぞよろしく願いいたしまして、私の御挨拶といたします。

本当にきょうはどうもありがとうございました。

【高誠総務常任副委員長】

ありがとうございました。

次に、今回の意見交換会に出席している議員を紹介させていただきます。

まず、今回の意見交換会を担当しております総務常任委員会の委員を紹介いたします。

野本正人委員長。

【野本正人総務常任委員長】

皆さん、こんばんは。

【高誠総務常任副委員長】

安達前委員。

【安達前総務常任委員会委員】

皆さん、こんばんは。

【高誠総務常任副委員長】

森尾嘉昭委員。

【森尾嘉昭総務常任委員会委員】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【高誠総務常任副委員長】

前誠一委員。

【前誠一総務常任委員会委員】

こんばんは。

【高誠総務常任副委員長】

源野和清委員。

【源野和清総務常任委員会委員】

こんばんは。よろしく願いいたします。

【高誠総務常任副委員長】

以上6名で構成されております。

次に、金沢市議会には総務常任委員会を初め5つの常任委員会がありますが、残る4つの常任委員会からそれぞれの委員長が出席いたしておりますので、御紹介をさせていただきます。

経済環境常任委員長であります秋島太議員。

【秋島太経済環境常任委員長】

こんばんは。よろしく申し上げます。

【高誠総務常任副委員長】

市民福祉常任委員長であります小林誠議員。

【小林誠市民福祉常任委員長】

こんばんは。よろしくお願いいたします。

【高誠総務常任副委員長】

建設企業常任委員長であります下沢広伸議員。

【下沢広伸建設企業常任委員長】

下沢でございます。よろしくお願いいたします。

【高誠総務常任副委員長】

教育消防常任委員長であります小阪栄進議員。

【小阪栄進教育消防常任委員長】

こんばんは。よろしくお願いいたします。

【高誠総務常任副委員長】

また、他の常任委員長以外の市議会議員については、会場に向かって左側にオブザーバーとして参加をいたしておりますので、あわせて御報告をいたします。

3. 平成26年度金沢市議会 6月定例会月議会報告

【高誠総務常任副委員長】

それでは、早速でございますが報告に移らせていただきます。

平成26年度金沢市議会 6月定例会月議会が去る6月9日から23日まで開催されましたが、その内容につきまして報告をいたします。

報告者は、総務常任委員会所属の前誠一議員です。よろしくお願いいたします。

[前誠一総務常任委員が平成26年度金沢市議会 6月定例会月議会報告について別紙のとおり説明]

前議員、ありがとうございました。

4. 意見交換会テーマ報告

【高誠総務常任副委員長】

続きまして、本日の意見交換会のテーマでもあります議会基本条例と議会改革につきまして、会場正面スクリーン、パワーポイントを使って報告をさせていただきます。この報告が終了いたしましたらこのテーマに沿った意見交換を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

報告者は、総務常任委員会所属の源野和清議員です。よろしくお願いいたします。

[源野和清総務常任委員が意見交換会テーマ報告について別紙のとおり説

明]

源野議員、ありがとうございました。

5. 意見交換

【高誠総務常任副委員長】

それでは、ここから、本日御参加くださいました皆様方との意見交換に移りたいと思いますが、これからの進行を野本正人委員長と交代いたしたいと思います。

【野本正人総務常任委員長】

皆さん、こんばんは。ただいま御紹介をいただきました総務常任委員長の野本正人でございます。

それでは、これからは進行を私がさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。座って進めさせていただきます。

それでは、ただいまより意見交換を行いたいと思いますが、意見交換を始めるに当たりまして何点か注意事項についてお願いしたいと思います。

発言を希望する方は挙手願います。私が指名いたしましたら、係員がマイクをお持ちいたしますので、意見を述べる前にお住まいの町名とお名前を言ってから発言をお願いいたします。

今回は議会として開催している意見交換会ですので、議員の個人的な見解は述べないこととしておりますことを御了承お願いいたします。議員個人の考え方や意見を聞きたい場合は、意見交換会終了後にそれぞれの議員に対して質問をされるようお願いいたします。

会場の都合もありますので、8時半になりましたら意見交換会を終了いたしたいと思いますので、御了承願いたいと思います。

まずは、今回の意見交換会のテーマであります議会基本条例と議会改革につきまして意見や質問のある方は挙手を願います。なお、その他の質問は後ほど時間を設けますので、今ほども申し上げましたとおり議会基本条例と議会改革についての質問をお願いいたします。

【参加者】

今ほどの説明で議会の役割と議会基本条例ということについてなるほどとは思っておるんですが、その前提として議員の品性といいますか、栗森前副議長が人を殴った。そして逮捕された。あるいは山野市長がなぜやめたのかというのはこれから解明されるのかと思うんですけども、そのときに何人かの議員の方が一緒におられた。

私、こういうような話というのは、今65歳ですけども、長い間の金沢市政で聞いたことないんですね。あったのかもしれないけど。ここのところ非常に金沢市議会の議員さん自身が小ぢんまりとしてきているんじゃないかなという印象を

持っておるんですが、その辺のことについて市議会自身としてどういうふうにお考えになっておられるのか、ここをお聞きしたいと思います。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

じゃ、議長、お願いいたします。

【田中展郎議長】

今の質問に答えたいと思います。

栗森前副議長の辞職の件についてということではありますが、本当に市民の皆様には大変申しわけなく思っております。本人も容疑を一部認めているようですが、事実であれば言語道断で許されざる行為だと私も思っておりますし、大変皆さんには申しわけなく思っております。市民の皆様には、本当におわびするしかないと思っております。

先ほど品性という言葉もありましたが、今後は市民の皆様から信頼を回復するために、この私たちが、私がまた先頭に立って、また各議員が本当に一生懸命職務を誠実にやることによって、また皆様からの信頼を回復したいと思います。

議員全員、一生懸命これからまた皆さんに理解してもらえるように頑張りますので、よろしくをお願いします。

以上です。

【参加者】

執行機関と議決機関の関係について、市議会だよりというものを私ら市民は頂戴して、それをずっと集計してみました。今の山野市長さんの平成22年の12月議会からこの6月議会まで、市長提出の総議案数は520件ありました。これが否決されたというものは1件もないんです。全部可決されております。市長提案の議案というのは全部可決されている。そのうち全会一致というのが415件。何と80%が全員一致、全会一致で可決されていると、こういう数字を集計しました。ちなみに、山出さんの最後の4年間、ちょっと集計してみたんですが、山出さんは最後の12月議会だけを除いて15回、558件あって、これも否決は1件もない。全部可決されている。そして全会一致というのが480件、約86%全会一致で可決されていまして。山野さんは約80%全会一致。そうすると、議決機関というのは、全部全会一致、全部市長さんの提案議案というのはイエスなんです。そうすると、議決機関というのはもう既に地ならしされた議案しか出てきていないということでしょうか。執行機関の長である市長さんは市民の代表で、自分の市政方針を述べて市民から選ばれて市の行政のトップとして執行機関を預かっていらっしゃる。その方が出される議案というのは、その方の方針であります。そして今言った数字は、予算というものが一番大事でしょうけれども、山野さんの予算は4回のうち全部可決されていて、3月議会の予算だけが賛成多数ということで、山出さんののもそうですが、これも3月議会は賛成多数で全会一致ではありません。

そんなようなことで、先ほど執行機関と議決機関、チェックをして、そして市民の代表である市会議員の皆さんが市民の目でもって執行機関をチェックするというふうにおっしゃっていました。こんな数字を見るとチェックというのはどういふふうになされているのか、そんなことは有名無実でないかというふうに思います。そして今度のこういう議会改革ということで活発にやろうというものをつくって、どれだけ新しい袋をつくったって、それが入っているお酒、つまり市会議員さんの皆さんの質が同じであれば何も変わらないということになるんじゃないでしょうかというのが私の素朴な疑問です。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

議長、よろしく申し上げます。

【田中展郎議長】

貴重な御意見ありがとうございます。

二元代表制、執行機関と議決機関が成り立っていないのではないかという貴重な意見であります。たまたま520の数字が全部可決されたということで、いいことか悪いことかはちょっとあれなんですけど、議会としては本当に中身を十分議論して、そして可決しているということを確認していただきたいと思います。

【参加者】

今の話、答弁になっていません。

初めてのこういう意見交換会で名前を言わなきゃ、住まいを言わなきゃいかなのかなと思います。もっと市民と膝を交え合わせながらいろんな意見を聞いていくという構えで、いろんな意見があると思います。名前を出したくない人もおいででしょう。ぜひそのことを検討していただきたいと思います。

司会者から議会改革ということで一定の制限をされているわけですが、私はここに参加されている多くの皆さんや参加されてない市民の皆さんの今の思いは、山野市長の辞職の問題が非常に大きな関心事になっております。そうですね。日曜日に金沢市内は雨の関係で救急車、消防車が走り回って大きな関心事になりました。一夜明けて何が起きたかといったら山野市長の辞任です。ここでもまだ激震が始まりました。そして今、市民の思いは、どこに問題があったのか、議会の対応がどうであったのか、そういったことが今求められていると思います。議会改革の最後に市民の負託に応えるということですから、ぜひ私の思いを聞いていただきたいと思います。けさの地元紙は、市民不在。私どもも、真相が闇から闇になってしまったと、何が真実かわからない。一夜明けるととんでもないことになっているというのが市民の感情であり、同時に地元紙がずっと報道した内容ではないか。特に地元紙の中では市民の方のいろんな思いをつづられております。そこには、落胆をしたとか、一夜明けたら何が何だか何もわからなくなって市長が辞職してしもうたという市民の率直な意見も出されている。ここにあるのは市

民不在の政治であるというふうに私は思います。もっと開かれた議会改革、そして市民に負託されている改革というものが、これを機会にぜひ議論を深めていただきたいと思います。

特に、私は山野さんの行った行為は絶対に許される問題ではないと思います。ただ、そのときに議会がどのように対応していたのか。スタートがいわゆる念書から始まったんです。そしてその次には同意文書が出てきたと。この間、問題はこの1年8カ月余り。念書ときには陳謝をされて、そして同意文書でも軽率であったという記者会見もされて、そして1年8カ月後、今回の問題が出てきているわけです。その間に議会が真相究明にどのように当たったのかということの一つは聞きたいと思います。

仮に、その1年8カ月の間に山野さんどうされたんですかという真相究明がされていた場合、今回のような新たな職のあっせんじゃないんですがリサイクルをやったらどうかという話がなかったのではないかと私は思います。私の知識は地元紙しかないわけです。それを頼りに今話しているわけですが、全くそこでもう市民が知らないまま、きょうあすを迎えているというこの状況にあります。

それから、最後のとどめが、先日、市長選に山野さんを推薦するかかどうかという自民党の検討会なるものが開催されて、そこで馳国会議員がすっぱ抜いたという報道記事であります。その内容がもっと事前に議会に届けられる、そして議会としてどうすればいいのだろうかという対応がなぜできなかったのかという問題です。ここにも市民不在の方向といいますか、柱がずっと走っているわけです。そこで議会改革というのはどういうものかということを考えざるを得ないと思います。ぜひ、辞職の発端になった、さきのそういう推薦するかどうかという話のいきさつがどうして議会に通らなかったのかということをも2点に聞きたいと思います。

第3点目に、冒頭言いましたように、辞職をして解明されないまま退職されたわけです。市民からしたら何が何か全くわからないという状況なんです。じゃ、議会としてどうしていくのかと。真相解明について、今、地元紙読んでましたら、本人は何とか解明をしたい、真相を明らかにしていきたいという何かやりとりもされているようですが、ただ、議会として、こういうこの市民不在の運営や、あるいは辞任に伴う真相究明を議会としてどう対応するのか。今後の問題、ぜひ3点目としてお答えいただきたいと思います。

以上です。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

議長、お願いします。

【田中展郎議長】

たくさん質問があったので。

その前に、先ほどの条例可決の件で少しちょっとお話ししたいと思います。

全部可決じゃないかということでもありますけど、議会は、もし内容がおかしかったら修正をかけてます。修正して可決しているということで、例えばぼい捨て等防止条例とか、それから前出とった多選自粛条例等々は、出てきたその条例案を議会のほうで修正して可決しとるというふうなことで、全てが全部何でも出たままそのまま可決しているというようなことはないということを御理解していただきたいと思います。

【参加者】

その市議会だよりのこの集計を私ずっと、バックナンバー全部集計しとるけれども、そういうことは一つも書いてない。全部可決になっている。そういうことをわかるようにして、私らはちゃんとチェックしているんですよということをお知らせするような広報にしてください。

【田中展郎議長】

貴重な御意見ありがとうございました。

今、議会広報委員会というのを新たに立ち上げてますので、また今の御意見も取り入れて、修正可決なら修正可決ということでできるかどうかも検討していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

まずは議会の真相究明ということで、今回の市長の辞職に対する議会の真相究明ということで1点お聞きしました。

市長は辞職という大変な政治責任の重い決断をしていただきました。議会としても、それが市長が辞任の理由ということで重く受けとめているというような状況でございます。議会として市長の真相究明をまた今後やるのかということになりますけど、市長は辞職しております。公務を離れております。そんな意味で一人でするので、議会として市長を呼んでこの後責任を問うというふうなことは今のところありません。それから、自民党の内部の委員会で出た資料の件についてでありますけど、これは自民党の内部資料であります。そんな意味で、その資料を出してくれと言っても、これは中身の信憑性もどこまで信用していいかわかりません。そんな意味で、それをまた外部に出すというのもいかなもなかというふうなことで、一応党内でその内部資料の信憑性と、そして外へ出していいかどうかを検討しているということでございます。できれば、本当に党内だけの資料ですから外部に出したくないというのが真相だと思います。

それからもう1点、市民不在ということで、これは本当にまことに申しわけなく思っております。議会がどのような対応をしていくかというのは、一番やっぱり議会の目的は市政の空白をできるだけなくすように、停滞してはいけないというふうなことで、実は議会のほうもびっくりしとるんです。きのう私も辞表をいただいて、そして皆さんで諮ってその辞表に基づく、その問題を承認する議会を開いたということでございます。できるだけ停滞がないようにということで、い

ただいでからすぐ代表者会議、そして議会運営委員会、それから緊急議会ということで早急に開かさせていただきました。これも市民不在でないようにできるだけ早くやらなければならないということで、もうその日もらってその日緊急議会を開いて市長の退職を承認したということで、それが一番の議会がとるべき今の最大の役割かなと思っています。できるだけ市民不在がないように、これから一生懸命、議会、またみんなで協力して進めていきたいと思っています。

以上です。

【野本正人総務常任委員長】

済みません、先ほどの名前を言わなきゃいけないのかということでもありますけれども、これはいろいろ、この意見交換会というのは全国、石川県内でも白山市等でも行われていることがありますして、その例を見て一応そういうことに決めましたので、他意はございませんので、何とぞ御理解をよろしくお願いをしたいと思います。

【参加者】

簡潔に、聞きたいことがいっぱいあるんですけども、あるいは提案したいことがいっぱいあるんですけども、時間もないので簡潔に2点だけ。

最近、全国的に地方議会ということで話題になって、その中で一番ポイントみたいにテレビ報道とかされてますけど、政務活動費というものが、これ一つお願いとしてございますけれども、事後精算、こういう形にとりあえずしていただけないでしょうか。ぜひ御検討を、いえ、決定をお願いしたいなど、こういうふうに思っています。

もう1点は、今、田中議長が御返事されましたですけども、市長が退職、辞任されたというふうになって私人になってしまうと百条委員会は開催できないんですか。しちゃいけないんですか。市民にとって市長というのは物すごい重要な職で、理由が何もはっきり表に出てこないまま退職してしまったんで、これでおしまいというわけには市民の感覚としてはいかないはずなんです。先ほどこれ、コンビニで買った夕刊なんですけれども、「自民市議関与聞き取り」とか「車券場問題、議会各派が対応協議」とあるんですけども、市長だけでなく関与した市議さんもいらっしゃると。これもあわせてきっちり解明して御報告お願いしたいというふうに、この2点、いっぱいありますけれども、こんだけぜひよろしくお願いをしたいと思います。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

今、1番目の政務活動費、事後精算にしてくれという御質問でございますけれども、今の制度では前払いということになっております。それを事後精算にという貴重な御意見は、ここですぐそうすることにはできませんけれども、今後の参考にさせていただきたいと思っています。よろしくお願いをいたします。

2番につきましては、議長、またよろしく願いをいたします。

【田中展郎議長】

貴重な御意見ありがとうございました。

市長の辞任で百条委員会というお話が出ました。これまでの経緯も皆さんわからないということで、少し話しながらやりたいと思います。これまで山野前市長は、平成22年10月、当時議員だった山野氏が場外車券売り場設置に関する念書を作成したこと。2番目、平成23年7月、山野前市長が設置同意文書に署名、私印を押印したこと。それから3番目、平成24年6月、場外車券売り場設置予定のビルを市のリサイクルプラザとして借りるという提案をしたこと。この3点が私たちが報道で知っている事実の内容でございます。この3点を市長みずからが議会や記者会見で認めております。そして法的に問題があるかどうかはわからないが、歴史と伝統ある金沢市に百条委員会だけは避けたいと、そんな思いで道義的責任をとって辞職をしました。そんな意味で、市長の辞任、辞職という大変、先ほども言うたように重い決断を私は重く受けとめているということでございます。

関与した市議についてはいかがかということでもあります。議会としても放っておくつもりはありません。議会サイドとして、実は各派の代表者会議におきまして、まず各会派において事実を確認し、その内容を議長に速やかに報告することになっております。その結果をもって、また次に内容を聞いてみないとわからないもんで、その結果を聞いて今後の対応を考えていくということで各会派とも理解をしております。先ほども言ったように、自由民主党会派、それから会派みらいさんには、きょうからも事実関係を確認しているということで聞いております。

以上です。

【参加者】

済みません。その事実関係は公表してもらえるんですか。

【田中展郎議長】

それも含めて代表者会議で検討させていただきたいと思います。

【参加者】

やっぱり公表しないとか。

【参加者】

公表しないとだめですよ、そんなの。

【田中展郎議長】

するしないは、それも含めて代表者会議で今後話をさせていただきたいと思っております。

【参加者】

まず、私の近辺みんな、何で金沢市長やめたんやって言ってるんですわ。みんなでいじめられたんじゃないかって言ってるんですけどね。本当にいじめはいけないって言ってるんだけれども、本当かなという感じですけどね。それはいい

んですけれども、今もおっしゃっていましたが、市会議員の関与がないとか何とかかんとかって、それは自分らで決めるからおまえら黙っとれという言い方をされてますけれども、本当に関与している方いらっしゃるんじゃないんですか。

私、実は大徳地区でその車券場ができたときに、太田ビルですよ、太田さんのところへ反対署名を行ったんです。そしたら地区のある人から「おまえ黙っとれ」って、少しでもあれやと「ほんなごたごた言うたって、できるもんはできるんや」って。ほんで「わしらには市会議員も県会議員もついてるんやからな」ってというふうに言われました。誰かっては言われなかったですけどもね。だからそういう事実というんか、そんなことを言う人がいるんですから、本当にいるんじゃないんですか。市長だけにその責任を全部おっかぶせて私は知りませんでは済まされない問題だと思います。東京都議会のやじでないけれども、「誰が言ったか」と言ったら誰も言わないというんじゃない、おかしい話じゃないですか。

一応私の意見は申し上げておきます。

【田中展郎議長】

ありがとうございます。

関与の問題について、市議会のこの問題に対しての関与につきましては、私も実は報道で知り得るだけであります。先ほども説明したとおり、18日の各会派の代表者会議において事実確認を各会派で行います。そしてその結果を議長に速やかに報告してもらうこととなりますので、決して身内をかばっているとかそんなことはしません。

【参加者】

まず、市民に報告をしてください。市民に。

【参加者】

報告しなかったらかばってるのと一緒じゃない。

【田中展郎議長】

その内容につきましては……。

【参加者】

議長だけじゃだめやって。

【田中展郎議長】

各会派で内容につきましては、中身につきましては、報告するしないも含めて検討させていただきたいと思います。

【参加者】

議長は公開に賛成なんですか、反対なんですか。

【野本正人総務常任委員長】

済みません、挙手の上、お願いします。

【参加者】

議長は公開に賛成なんですか、反対なんですか。どっちでしょうか。

【田中展郎議長】

議長としての個人的な意見は差し控えさせていただきます。

【参加者】

議長としての公的な意見をお伺いしたいんですが。

【田中展郎議長】

それは代表者会議で決まった上で報告させていただきます。

【参加者】

今の話の続きですが、代表者会議で決めても、一般市民、私らは新聞の記事しかつかめないんです。いかがですか。どっかの会派にでも入っとればわかるけれども、その辺の伝達、情報公開はどうなるんですか。

以上です。

【田中展郎議長】

新聞でしかわからない。私たちもそうなんです。新聞でしかわかりません、私たちも。

【参加者】

そんなわけねえやろうが。ふざけるな。

【参加者】

議会何しとるんや。

【参加者】

議会解散せいや。

【田中展郎議長】

代表者会議の中身は報告させていただきます。中身については、代表者会議で何を報告するかしないかをみんなで検討させていただきます。

【野本正人総務常任委員長】

そのほかはよろしいでしょうか。

【参加者】

通年議会と言われまして、290日間予定しているということです。365日から日曜日を引きますと313。290日間やると23日しか余りませんね。これだけ日程を詰めると、恐らくただらとした会議になるんじゃないかなと思います。

それと、ある程度何だかんだ調べるには、やはりある程度時間が要るんですよ。こういうふうになっていると、私はわかりませんが、適当に休んでいいよというようなことでやっとするのかもわかりませんが、それはそれとして、経費が一応問題になってきます。これは日当でやるんですか、それとも年俸でやるんですかね。そういうところ、今までと違ってどれくらい経費がふえるかとか、そういうような予算は出てますでしょうか。お知らせください。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

まず通年議会、先ほど説明をさせていただきましたけれども、通年ですから、先ほど言いました290日ですね。ただ、290日毎日本会議をやっているわけではなく、先ほども説明をさせていただきましたように、今までと同様に3月、6月、9月、12月に定例月議会を開催をさせていただいております。その期間は2週間から3週間ということでありまして、あくまでもいつでも開けるということがまずこの通年議会になったということでありまして、今まで市長が専決処分として条例や予算を決定することがありましたけれども、通年議会となりまして常に議会が開けると、そんな状態になったということで、そこは御理解を願いたいと思います。

ただ、予算については私もどれだけかかっているかというのは、今ちょっと資料を持ち合わせておりませんので、これはちょっと今。わかったら後でまた答弁させていただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

【参加者】

3つ意見を述べたいと思います。

まず議員の役割、10条に議員の役割って載っていると思いますが、この一番大きなものは議案の提案、それからもう一つは会議の内容を市民に説明することという、3つあるんですけども大きくはこの2つだろうと思うんですが、さっき述べられた方いらっしゃる様に、議案の提案というのは市長提案が圧倒的なんですね。40人いらっしゃる議員の方がなぜこんなに提案しないのかと。

それともう一つ、会議の内容を市民に説明するという市政報告会とかいうようなものなんですけれども、支援者の方を対象にしたものはよく聞きますが、一般の方を対象にしたものというのは寡聞にして聞いたことないですね。これじゃ議員の役割を果たしていると言えるんでしょうか。子どもの学校のあれじゃないですけども、義務を果たさないのであれば、宿題じゃないですけどもノルマみたいな形で1年に1案件は提案することという義務化するようなことも考えてもいいんじゃないかなと思います。

それから2つ目、政務活動費なんですけど、内容をチェックするのは市議会の事務局なんです。事務局の職員というのは市の議長が任命するところ書いてあるんですね。そうすると生殺与奪の権限を握られた者が議員の持つてくるものに対して否やというのは一般的に考えて言えるものなんでしょうか。だからこれは一般市民を含めて、裁判員裁判じゃないですけども、一般の市民の中から選んだ者が審査委員会でもつくってチェックするというのが一番公平なやり方だと思います。

それから3つ目は、市議会の議員政治倫理要綱というのがありますけれども、この中に「政治的又は道義的に責任があると認められる議員に対しては、次に掲げる措置を執ることができる」と書いて1番に「議員辞職の勧告」と書いてある

わけですね。その前段で「執ることができる」というのはどういう意味なんでしょう。か。「執る」というのが普通なんじゃないですか。ですから議長が副議長の進退について、進退は本人が決めることであって我々がとやかく言うべきことではないというのは、これはこの義務を放棄しているというふうにも言えるんじゃないかと思うんですが、いかがですか。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

1 番については、森尾さん、お願いします。

【森尾嘉昭総務常任委員会委員】

議会の役割、議員の役割について貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

これまで議会、議員のほうで条例を提案して成立したものが3つあります。1つは男女共同参画推進条例、2つ目が金沢の食文化の継承及び振興に関する条例、3つ目が先ほど説明しました議会基本条例、この3つの条例は議会と議員のほうで提案をして成立したものです。成立しなかった案もありました。御指摘のように、ますます議員や議会が市民の負託に応じて条例化する努力がこれから必要だし、我々も頑張っていかなきゃいけないというふうに考えています。

それから、議会の様子等を市民の皆さんにお知らせすると、支援者の範囲にどどまっているんじゃないかという御指摘がありました。お手元の資料のように、市議会だよりというものが発行され、各世帯に配布をされております。現在、広報委員会等でこの議会だよりについて、もっとわかりやすく、そして市民にどういふふうで伝えたらいいかということで検討が行われております。皆さんの負託に応じて、議会側としても、議員としてもまた一層市民の皆さんにお知らせできるように努力をしていきたいなというふうに思っています。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

2 番目の政務活動費の審査のことについてでございますけれども、職員だけでチェックしているんじゃないかと。さっき私ちょっと聞き取れないところがあって申しわけないんですが、たしか裁判員裁判みたいふうというお話だったとお聞きしましたがけれども、今、私どもの議会では、公認会計士や弁護士さんも入れてその辺はきちっと処理をさせてチェックをさせていただいておるところであります。その辺はきちっと精査をして議員各位が皆さんその領収書等をつけて政務活動費の報告書を提出していると、私はこのように思っているところです。

済みません、3 番目の議員の政治倫理要綱のことについて、もう一度、済みません、お話をお聞かせいただきたいと思いますけど、よろしくお願いします。

【参加者】

市議会議員の政治倫理要綱の第3条に「政治的又は道義的に責任があると認め

られる議員に対しては、次に掲げる措置を執ることができる」とこう書いてあって、1番目に「議員辞職の勧告」とこう書いてあるんですね。ところが前回、議長は副議長の進退については、出处進退は本人が決めることであって我々がとやかか言うべきことではないというふうな発言をしたと新聞なんかでは報道されているんですけども、じゃ、この「執ること」が、確かにこれを読めば「執ることができる」だからしなければならないということではないという意味に解釈すればそれでいいのかもしれないけれども、じゃ、この3条の条文というのは意味がなくなるんじゃないかということです。

【野本正人総務常任委員長】

この件について、議長、お願いします。

【田中展郎議長】

私のできる限りの回答をさせていただきたいと思っておりますけれども、政治的、道義的責任をとらなければならない、これはまことに当たり前のことであります。進退については、副議長の問題は公務中以外というふうなことで私的な問題ということになっています。そんな意味で、その中身の報道が私らにもその詳しい内容は明かされていません。そんな意味で、政治家の進退は自分でとるべきことだと私は言ったつもりです。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございました。

先ほどの通年議会で予算がどんだけふえるのかという御質問に今お答えをしたいと思っております。これは通年議会でも予算については変更がないということでございますので、よろしく願いいたします。

それでは、時間も押してまいりましたので、ここからはその他にも含めて1問ずつということでもよろしく願いをしたいと思います。

【参加者】

東京から帰ってきました。三十数年間いて帰ってきました。

議会の議員というのは言葉で政務をなさっていく代表者だと思うんですが、6月20日前後にやじを飛ばした問題が都議会で何だかなという情けない事件がありましたけれども、ここに中日さんの新聞に東京大学の吉見という社会学者の痛烈な記事があって、「ヤジを飛ばして半世紀」っていう痛罵する記事があって、何を言いたいかといいますと、冒頭来、議長が「改革」という言葉を10回ぐらい口にされてますね。改革という言葉は何もやらないという言葉の同義なんです。これは表象文化論の大家が言ってるんです。国鉄改革がどうなったか、北海道を見ればすぐにわかるわけです。だから「改革」じゃなしに、どこかの国の偉い人じゃないですけども、「チェンジ」でいいです。改革というのはリフォームです。何もやらないということです。金沢は文化都市なんですから、そんなおためごかしは言わないでください。

それで、冒頭のやじの問題ですが、若いある議員から聞いた話ですが、新聞に載ってませんが、ひどいもんだと、もう耳を塞がばかりだと。ここに吉見先生が痛罵して、これは非常に深刻な問題だと、一般に言われているレベルの問題ではないんだと。その程度の代表者しか我が国は持てないんだということを肝に銘じて、矜持を持って政治をやっていただきたいですね。

議長にお願いしたい。改革ということを再三おっしゃいましたけど、今後、私、議会を見にいて動画をネットに載せませすけれども、女性の議員が質問したときに「早く結婚したほうがいいんや」とか「おまえ離婚したじゃないか」とかという、これ差別ですよ。そういったことを言わせないと約束していただきますか。お願いします。

【野本正人総務常任委員長】

やじのことをございますけれども、確かに金沢市議会でもやじはあることはあります。しかし、人権を侵害するような、そんなやじはございません。今おっしゃった東京都議会ではそういうやじもあったことは確かだと思いますけど、金沢市議会においては、やじは認めますが、そんな人をおとしめるようなやじはないということだけ御理解を願いたいと思います。

議長の改革について御答弁をお願いします。

【田中展郎議長】

やじではなくてですか。

【参加者】

やじにかこつけて改革という言葉をおっしゃったんで。

【田中展郎議長】

そのようなやじは、今委員長が言うたように、あの都議会のやじは私も問題があると思っております。今言うたように、人権とか、それからその人そのものを批判するようなそんなやじは金沢市議会ではないようにするつもりですし、今までもそのようなことは余りなかったと私は確信しておりますけれども。

以上です。

【参加者】

よろしくをお願いします。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

【参加者】

きょうはこのようすばらしい機会を設けていただきましてありがとうございます。

きょうは議会改革ということですので、一つ素朴な疑問があります。議員の任期は4年ありまして、その間に年4回定例議会ありますけれども、この間、任期中に一度も質問に立たない議員がおりまして、これについて私はやっぱり市民の

代表、地域の代表で議員に選ばれていますので、質問に立たないのは非常に問題じゃないかというふうに思うんですけども、これについては議会はどのように取り組もうと考えているのか、御意見をお聞かせ願います。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

私、ちょっとお答えをさせていただきますが、今言われたのは本会議でということだと思います。ただ、常任委員会、きょう5つの委員長がいますけれども、この委員会でも質問というのはできるわけでありまして、そこでの質問者というのは議事録には残ってますから、そこを見れば誰が質問したかということはわかりますが、今おっしゃった本会議で質問しないのはどうだということではありますが、これは私、個人の意見はきょうは言わないという話ですけども、これは議員個々の考え方でありまして、強制もできませんし、当然議員の権利でありますから、これは議員個々が考えることだなどと思っております。

【参加者】

それは市民が判断するのは構わないですね。

【野本正人総務常任委員長】

そうです。それは市民が見て、この議員が質問しないのはどうしてかと思われるのは、それは市民の判断だと思います。

ありがとうございます。

【参加者】

7ページの9章の議会と議会事務局の体制強化ということについてお聞きしたいんですけど、第29条の広報広聴の充実というのは、内灘町では陳情しても何もならなくて、金沢市だとちゃんと議員さんが審議してくれて、議事録も載って、ホームページにも公開されて、こういう意見交換会まであって大分進んでると思うんですけど、本題に入るんですけども、僕、市民オンブズマン石川で活動してまして政務活動費についてちょっとお聞きしたいんですけど、今、金沢市の議員さんって1人当たりお幾らでしたっけ。

【野本正人総務常任委員長】

月額18万円です。

【参加者】

18万円ですね。これ全国でトップクラスで、平成23年の政務調査費の返還裁判で、今、名古屋高等裁判所で約1,000万円近くの返還命令が出て、これ次、最高裁判所なんでよっぽどの憲法違反みたいなことがない限り返還になると思うんですけど、わざわざ弁護士を立てて何年もかけて返還になって、何で返還になっているかという車のレンタル料に使ったり事務所費に使ったり、これ半分しか認めてないのにそれ以上の経費をやつとるからこんな結果になったと思うんですけど、今後またこういう政務活動費はこういうふうな使い方をしていて、今皆さんが言

ってたような山野さんの問題に政務活動費を使つとれば、僕、みんな文句言わないと思うんです。ほんなわけのわからん車のお金とかパソコンのお金とかに使つとるからこんなことになってると思うんですけれども、この政務活動費についてお聞かせください。お願いします。

【野本正人総務常任委員長】

先ほども説明の中でもあったかと思えますけれども、この政務活動費については、議会の中で、政務活動費に使っていいもの、いけないもの、そういうものを区別をさせていただいて、金沢市議会政務活動費運用の手引きというものをつくっております。その中で、その範囲の中で政務活動費を使っております。今おっしゃった裁判のことは、私がここで云々言う話でもないのでお話はできませんが、これは先ほどもお話しさせていただきました公認会計士や弁護士さんにも入っていただいてチェックをしているということで、この手引きについては議会のホームページでも公開をいたしておりますので一度ごらんいただければなと思っておりますので、御理解を願いたいと思います。

あとお2人ぐらいでお願いします。

【参加者】

阪神大震災とか東日本大震災で大変な人たちが犠牲になったわけなんです、金沢も白山とか、それから金石沖には地震の巣がありますし、それから富樫と森本の断層地帯があるということで、やはり備えあれば憂いなしといいますか、そういうことがあると思うんです。それで、県の危機対策課、市の危機管理課にお尋ねしましたところ、3日間は生きとってもらわなアカんと、こういうことなんですよね。3日間って何をあらわしてるのかというと、生存率というのは大体3日間しかないんですよ。3日間しかないところで何も手を打てない、だからあなた方生きておらなきゃいけないというのだと何もしないことじゃないかとかこういうふうに若干思ってしまうわけなんです、3日間の間に何ができるかなと逆に考えてみますと、我々市民が向こう三軒両隣といいますかまちづくりの中でいろいろやっぱりお互いに努力していかなければいけないんじゃないかという結論ではあるんですけれども、その3日間に対してどういうふうな対応をしようかということも少し市会のほうで議論していただきたいというふうに思うんです。市の職員さんが3日以内に対応できないから仕方ないんじゃないかって言うたら、全員死になさいと言うことと同じですからね。ですからそれをちょっと考えていただきたい。そのためには高層ビルなんかを一時避難場所に条例として設定していただきたいとか、例えば台風と、それから地震が来て、それが深夜発生したら最悪のことになるんですよ、金沢は。火災が起きて、土砂崩れが起きて、洪水が起きてということになって最悪のことになるんですけど、でもこれは独立事象ですから同時に起きないということはある程度あり得ないんで、そういうことも含めて3日間に何ができるかということを実際に討議していただいて、お願いしたいと思います。

それでもう一つ、新幹線が来ますんで金沢市には外人の人たちがいっぱい来ると思うんですよね。そうすると、例えば金沢市役所の前の標識はあれ誰も読めないんですよ。漢字でしか書いてないから。「広岡」って書いてあるのは漢字なんですよね。よく我々も聞かれるんですけども、ここはどこですかって質問されるんですよ。「Where am I?」と、私はどこにいるんですかという質問をされるんですけど。そういう状況なんで、そういう避難というものを含めて3日以内に何ができるかということを真剣に議論していただきたいというのが要望です。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

じゃ、所管の、1問目は小阪委員長、2問目は秋島委員長、お願いします。

【小阪栄進教育消防常任委員長】

それでは、危機管理について今御意見ございましたので説明をと思います。

3日という言葉が今出ました。私、先日ある会へ出ましたら、「もう3日ではない。6日だ」と言われました。6日間は、大震災、大災害が起きた場合には自力で、地域で頑張ってもらいたい。というのは、全市的、全県的な大災害が起きた場合に市の職員や県の職員だけでは何にもできない。自分自身が被害に遭っている。東日本大震災もそうでしたね。ですから市なり、今、私たち市の立場で申し上げるんですけども、一生懸命やるのは当然だと思うんです。ですけども、その前に3日間は自分で、町会で、自力で、地域で生き抜く備えをしてほしい。もっと言うと勉強もしてほしい。私自身もまだ勉強してませんけれども、一生懸命したいと思っています。ですからその上で行政の支援を待つ、そういう意味だと思うんです。3日間何もしない、ほったらかしておまえらやれ、そんなの決してありません。市はそんなことを考えていません。今、一生懸命対応を細かく考えております。

【野本正人総務常任委員長】

看板について、秋島委員長、お願いします。

【秋島太経済環境常任委員長】

来年3月にいよいよ北陸新幹線が開業されます。それに対しまして、今まで金沢市議会としましても本会議におきまして、特に来街者が多い台湾であるとか韓国、またアメリカ、そういった海外の方にもわかるような標識を、金沢駅をおりたときからしっかり対応してほしいということは訴えてまいりました。先ほど質問ありましたとおりに、もう一度、金沢市の観光客が訪れる、例えば兼六園であるとか、これは県が管理してますけれども、そういう観光地におきましてもしっかり調査をしまして市のほうにまた訴えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございました。

先ほどの危機管理の問題もしっかりと、委員会のほうでも御提案いただいた件につきましてはしっかりと議論をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

それでは、最後の方、1人お願いします。

【参加者】

この意見交換会のチラシを見せていただいたんですけれども、最初、すごい感動しまして、いい会だなと思ってきました。非常に活発な意見も出てあれだったんですけど、Ustreamでインターネットで放送して、やっぱりより多くの市民の人に開かれるべきだなというのが感想です。

それとやっぱり今、新幹線がやってきて金沢は非常に注目されているまちであるということで、山野市長、マラソンを一生懸命やろうということで頑張っていたんですけれども、その金沢市が今非常にばたついた状況の中で、やっぱりしっかりどうまとまってやっていくかということを、市民も、議会の皆さんも一緒にやっていくべきだと思います。そのときに情報公開というか、先ほど代表で話し合っただけで公表するかしらないかというのは後で決めるということでしたけれども、市民一人一人がそれを知りたいというそれが市民の感情なんで、やはり議員の先生方もその辺のところをしっかりと受けとめて、しっかり公表して、開かれた金沢市政を目指してほしいと思います。

以上です。ありがとうございます。

【野本正人総務常任委員長】

ありがとうございます。

議長、お願いします。

【田中展郎議長】

情報公開というお話をいただきました。

公開できるものはできるだけ公開していきたいと思います。

【参加者】

いつも同じ話ばかりで。

【田中展郎議長】

中身に対しては、また私、議会等の中で検討させていただきたいと思います。

【参加者】

現状認識が甘いです。市民の負託に応えるならもっと出していかないとだめです。

5. 閉 会

【野本正人総務常任委員長】

大変貴重な意見を本当にありがとうございました。

時間となりましたので、今回の意見交換会はこれで終了いたしたいと思います。

ありがとうございました。

【高誠総務常任副委員長】

今後におきましても、9月定例会月議会終了後に西部地区と南部地区でそれぞれ開催する予定でありますし、あと、それも含めて今年度4回開催いたします。また御参加のほうよろしく申し上げます。

受付のときにアンケートも配布させていただきましたが、御記入の上、お帰りの際に受付に提出をお願いいたします。

それでは、これもちまして金沢市議会意見交換会を終了いたします。

ありがとうございました。

以 上